

【12月4日（木）】

本日も相変わらず4時に起床してしまいました。今日こそはしっかりと2度寝をすると覚悟を決めましたが、朝5時頃に近隣からかすかに聞こえるコーランの音で目を覚ましてしまいました。今日は、HIDA様がアテンドして下さったブカシ（ジャカルタの隣の市）にある日本企業へA社様の担当者の方と訪問することになっています。11時にアポイントメントが取れているので、余裕をみて8時に出発することにしました。最初は順調でしたが、高速道路の手前から渋滞に巻き込まれてしまいました。市街地を抜けるのに時間が掛かってしまうのは仕方のないことです。高速道路に乗ってしまえば、後は順調でした。ドライバーさんにもよりますが、結構せっちな方のように、前に車が走っているとドンドン追い抜いていく運転をして下さいました。お陰様で時間通りに到着することができました。

面談内容としては、業種が非常に似ていることもあり、業界内の同じ悩み等のお話しが聞けました。又、先週のデモの話も聞けました。2日に訪問させて頂いたY社様と同じ内容の話だったので、地域が違って同じ状況であることに驚かされました。一時間程の面談が終了し、A社様も貴重な話が聞けたと、喜んでいらっしやいました。有難うございました。



午前中にはB社様が、インドネシアのゴミ処理状況を知りたいとのことで、バンダルグバンにあるゴミ処理場に訪問されていました。ジャカルタの全てのゴミがダンプカーで運ばれてくる処理場だそうです。ゴミを次から次へとゴミ山にひっくり返していき、ゴミ山を作るために、運ばれてきたゴミはショベルカーにて上へ上へと山積みになっていきます。その横で手作業にてお金になるゴミを拾い集める作業者がいます。作業者には子供もおり、ゴミ山の横に居住している家族

もいるらしいです。子を持つ親としては非常にショッキングな話でした。足元はウジ虫とハエが大量に発生しており、場所によっては歩くたびにプチプチと音を立てているとのこと。悪臭も強く、鼻の奥まで匂いが残り、生活するなんでもっての他とのことでした。見学中にチャーターしたバスも付近に待機していたが、悪臭が中に残り、運転手からは車内も車外も洗いなおさない匂いが落ちないと困り顔をしていた



のが記憶に残っています。見学から戻ってきた一行は、展示会場に戻ってきましたが、「どこにいても匂いが残っている」と嘆いていました。日本でみる事が出来ない経験が出来たのと、ゴミ処理事情が肌で感じられたのは、良かったとことでした。B社様が扱っている有機物分解装置のニーズは十分に考えうる状況だったそうです。